

競 技 注 意 事 項

1. 競技規則について

本大会は2025年日本陸上競技連盟規則および競技注意事項によって実施する。

2. 練習場及び練習について

- (1) 練習場所及び練習時間については別記公開練習要項を確認し行うこと。
- (2) 審判員・競技役員の指示に従い行うこと。
- (3) 大会中、バックストレートを開放する。詳しくは別記公開練習要項を参考にする。

3. 競技者の招集について

- (1) 招集所は会場図を参照すること。
- (2) 各種目の招集開始時刻・完了時刻は、すべてその競技開始時刻を基準とし、下記の要領で行う。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	25分前	15分前
フィールド競技	40分前	30分前
棒 高 跳	70分前	60分前

- (3) 招集完了時刻までにアスリートビブスの確認を受け、競技者係の誘導により競技場に入ること。
- (4) 棒高跳に出場する競技者は、競技開始時刻1時間前までに現地に集合のうえ点呼を受け準備を行うこと。
- (5) 他の種目とほぼ同時時刻に兼ねて出場する競技者は、予め多種目同時出場届を提出し、その旨を必ず競技者係に申し出ること。（トラック競技を優先とする）
- (6) 招集時刻に遅れると、当該種目を棄権したものとして処理するので注意すること。
- (7) 当該競技を棄権する場合は、招集開始時刻前に必ず棄権届を競技者係に提出すること。
- (8) 混成競技者は、第1日、第2日の最初の種目のみ競技者係で点呼を受け、以後は混成係の指示を受ける。

4. アスリートビブスについて

- (1) 全ての競技者はユニホームの胸、背に主催者が交付したものを使用し、確実に付けること。跳躍競技に出場する競技者は、胸又は背のどちらかに付けるだけで良い。
- (2) トラック競技出場者は、写真判定用の腰ナンバーカード（点呼の際、競技者係より配布）を右腰やや後方に付けること。フィニッシュ後に自分で外し、係の者に返却すること。
- (3) 長距離種目（3000m以上）は胸と背にレーンナンバーカードをつける。ナンバーカードは競技者係で配布する。

5. A、B決勝の振り分け及びレーン順、競技順について

- (1) トラック競技予選レーン順、フィールド競技試技順はプログラム記載の順による。
- (2) 決勝の組み合わせ及びレーン順は番組編成係で抽選をし、その結果を招集所に提示する。
- (3) A、B決勝の振り分けについては、予選通過者をTR20.3.2(b)に基づいて順位づけし、上位8名をA、下位8名をBとする。

6. 競技について

- (1) TR16.8により不正スタートした競技者は1回で失格とする。
また、TR16.5.1～3を行った場合、審判長がイエローカードを示し警告を与える場合がある。同一競技で2枚のイエローカードを受けた競技者は、当該競技を失格とするが、それ以後の種目の出場は妨げない。
- (2) 短距離競走のフィニッシュ後は、競技者の安全のため自分に割り当てられたレーン（曲走路）に沿って走り終えること。
- (3) タイムレース決勝については、申込記録により上位・下位に分け、組み分けを行う。
- (4) 男子5000mWと女子5000mWは競技場運営の理由から男女同時スタートとする。
- (5) 男女の競歩競技においては制限時間を設ける。男女ともに30分以内に4600mを通過できなかった者は、競技を中止させ、DNFとする。
- (6) 競技場内での助力は禁止とする。コーチングエリアのみで行うことができるが、競技運営や他の競技者の競技の妨げにならないよう注意すること。またコーチングエリアにおける映像機器の取り扱いについてはTR6.4.5を順守すること。ミュージックプレーヤー・携帯電話等の通信機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- (7) トラックレースにおいて予選の棄権者により出場者が8名以内の場合は、予選を止め、新たに番組編成を行い決勝の時間に行う。

(8) リレーのオーダー用紙については次の通りとする。

①リレーのオーダー用紙は、招集所に用意する。

②オーダー用紙は、招集完了時刻 1 時間前までに招集所に提出すること。

(9) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は次の通りとする。

種 目	練 習	1	2	3	4	5	6	7	
走高跳男子	1m70	1m75	1m80	1m85	1m90	1m95	2m00	以後は3cmあがり	
走高跳女子	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	以後は3cmあがり			
棒高跳男子	3m70	3m80	3m90	4m00	以後は10cmあがり				
棒高跳女子	2m30	2m40	2m50	2m60	以後は10cmあがり				

①第 1 位決定の上げ下げは、走高跳で2cm、棒高跳5cmとする。

②混成競技については、混成競技審判長が決定する。

③天候その他の特殊条件によって変更する場合は、当該審判長が決定する。

7. 抗議について

競技進行中に起きた競技者の行為、または順位、記録についての抗議は、その競技者またはチームの代表者が結果が発表されて 30 分以内に総務員、審判長に直接伝達する。総務員、審判長は速やかに裁定を行う。

8. 競技場への入退場について

(1) 競技場の入退場は全て、競技役員の誘導により行う。競技者以外は、競技場に立ち入ることはできない。

(2) 競技終了後におけるトラック競技者は、本部棟前は通らない。

(3) フィールド競技における競技者は、当該審判員、マーシャルの指示に従い退場する。

9. 競技用器具について

(1) 競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用する。ただし、棒高跳のポールは個人所有のものを使用する。ポールについては、競技開始前に跳躍場で跳躍審判員の検査を受け許可されたものが使用できる。ただし、やりは検定を受けて合格したものを使用できる。検定は大会期間中の間に用器具庫で実施する。

(※時間は別紙やりの持ち込みについてを参照) その際、「やり検定申請書」とやりを持参する。検定合格したやりは「預かり証」を発行のうえ、一括借り上げし、参加競技者で共有できるものとする。借り上げたやり用器具庫で投擲審判員が返却する。

(2) フィールド競技で、助走に使用するマーカーは、主催者が用意する。使用し終わったら、競技者自身で取り外し、所定の場所に返納する。

9. 競技用スパイク・シューズについて

TR5.2に違反するシューズでの出場は認めない。

10. 表彰について

各競技 8 位までの入賞者は賞状を授与する。表彰は 3 位までとし、当該競技終了後、係の指示に従い表彰待機所で待機すること。なお、4～8 位賞状は、本部棟 1 階に賞状置き場を設けるので取りにくること。

尚、A、B 決勝がある種目については、A 決勝出場者のみを表彰対象とする。

11. 日本選手権出場資格獲得者は、選手権者かつ北海道陸上競技協会登録者であること。

12. テントの設営場所について

テントを張る場所は、次に従い、各自責任を持って取り扱うこと。

- ・大会前日は設置できない。大会当日の開門（7 時）より認める。
- ・大会期間中は設置したままで良いが、各校・各自の管理責任とする。主催者では一切の責任は負わない。
- ・メインスタンドへの設置はしないこと。

13. 応急処置について

医務員を配置し、応急処置までの用意はある。

14. ごみ処理の協力について

ごみは全て持ち帰ること。

15. その他

貴重品の管理は、各自またはチームごとで責任を持って行うこと。